小櫃川河口周辺における標識調査報告 (1998～2003)

木村裕一・茂田良光

A Report on the Bird Banding Research in Obitsu Estuary in 1998–2003

Yuichi KIMURA and Yoshimitsu SHIGETA

小櫃川河口は房総半島の中央部の東京湾岸に位置している。河口部の環境は干潟、三角州で構成されている。干潟は砂質で、大潮の干潮時には沖合約 2km にわたって干潟が広がる。干潟は春・秋の渡りの時期には、シギ・チドリ類の休憩・採餌場所として利用されるほか、秋から春にかけてはハマシギ *Calidris alpina* やシロチドリ *Charadrius alexandrinus* などの越冬地として利用されている。三角州には泥質の塩性湿地が広がり、干潮クリークが発達しているほか、北側には浸透実験池跡があり、南側にはクロマツ *Pinus thunbergii* の植林が見られる。塩性湿地ではセッカ *Cisticola juncidis*、ウグイス *Cettia diphone*、オオヨシキリ *Acrocephalus orientalis* が繁殖し、春秋の渡りの時期には、塩性湿地はツバメ *Hirundo rustica*、スズメ *Passer montanus*、オオジュリン *Emberiza schoeniclus* などの塹としても利用されている。浸透実験池跡はカワウ *Phalacrocorax carbo* がほぼ 1 年を通して塹として利用しているほか、春から初夏にかけて、コロニーとして利用している。クロマツの植林地（以下では松林）は近年衰退しており、近年はトベラ *Pittosporum tobira* やクワ *Morus bombycis* が増えている。松林は春・秋の渡り鳥に休憩地として利用されている。

山階鳥類研究所標識研究室では小櫃川河口干潟周辺での標識調査を 1974 年から継続して行っている。とくに 1998 年から 2003 年までの 6 年間は、それまで主に行っていた春・秋のシギ・チドリ類を対象とした標識調査に加え、周年を通して小鳥類を対象とした調査も併せて行うことが出来た。ここでは、1998 年から 2003 年までに行われた標識調査による結果と、若干の知見を報告する。

調査方法

調査地は小櫃川河口の前浜干潟（35°24' N，140°55' E）とその周辺である。調査期間は年によって異なるが、大体 1 年を通して行った。6 年間の調査日数はのべ 213 日で、最も多かったのは 1999 年の 50 日、逆に最も少なかったのは 2003 年の 20 日であった（表 1）。小櫃川河口での標識調査はシギ・

キーワード：標識調査，小櫃川河口，新放鳥，回収記録。

Key words: Bird-banding research, Obitsu Estuary, Newly banded birds, Recovery record.

表 1. 調査日数および新放鳥, 再放鳥数.

Table 1. Reserch Days, Number of Newly Banded and Recaptured.

	1998 年	1999 年	2000 年	2001 年	2002 年	2003 年	総計
調査日数	42	50	38	35	28	20	213
新放鳥種数	59種1647	57種1046	53種1088	48種898	42種538	27種327	91種5544
再放鳥種数	20種163	19種154	20種145	19種136	15種87	11種42	33種727

チドリ類を対象とした干潟と, 小鳥類を対象としたヨシ原と松林での調査に大別されるが, 実際の調査では同時に行う事が多かった. 捕獲調査では環境と対象鳥種に応じて次のように網の種類と張り方を変えて使用した. また時期や調査の主な対象に応じて, 再生装置を用いた鳴き声による誘引を行った.

1) 干潟

干潟での調査は主にシギ・チドリ類とコアジサシを主な対象とし, かすみ網は 61 mmメッシュのものを主に使ったが, 一部 36 mmメッシュも使用した. 使用した網の枚数は作業人数や時期によって大きく異なるが, 約 15 枚~90 枚で, 前浜干潟では汀線に垂直方向に 1~6 列, 平行に 1 列から 3 列に張った. 高さはおおよそ下段が 1m, 上段が 4mにした. それぞれの網列は互いに T 字もしくは十字に交差させて網を設置することもあった. 8~9 月の調査ではトウネン, キアシシギ, コアジサシの鳴き声を再生し誘引を試みた.

2) ヨシ原

塩性湿地のヨシ原では主に小鳥類の捕獲を目的に 30 mmもしくは 36 mmメッシュのかすみ網 6~20 枚を使用し, 高さは約 2mに設置した. 秋期の調査では小鳥類の囀りを再生して誘引を試みた.

3) 松林

松林では, 小鳥類の捕獲を目的に 30 mmもしくは 36 mmメッシュの網 4~12 枚を使用し, 高さは約 2 mに設置した. また中型以上の鳥類の捕獲目的で 61 mmメッシュの網 3 枚を使用し, 高さを 4mに設置した. 春期と秋期の調査では小鳥類とアオバズク・ヨタカの囀りを再生して誘引を試みた.

4) 池

塩性湿地内の池においてカモ類を捕獲するために 61 mmメッシュの網 3~5 枚を使用し, 池の周囲に沿って岸から 50cm~1m内側の位置に高さ 4m,あるいは滑車付きポールを使用し 6mの高さに張った. また, スズガモのデコイを使用しての誘引と, ヒドリガモの鳴き声を再生しての誘引を試みた.

5) その他

塩性湿地内のクレークにおいて, ロケットネットを使用した捕獲も行った. カワウはコロニー内で巢内雛を手取りにしたほか, 地上の巢で大形ボウネットを用いて成鳥の捕獲を試みた. 捕獲した鳥には右足に金属リングを付して放鳥したが, シギ・チドリ類のみはカラーマーキングの為に, 左足ふ蹠に白色, 左足脛に青色のフラッグを付した(木村・茂田 1999).

結果および考察

1. 放鳥記録

1998年から2003年までの新放鳥数は91種5,544羽であった(表2)。スズメ目で最も新放鳥数の多かったのはオオジュリン(1,043羽)で、次いでアオジ *Emberiza spodocephala* (580羽)、セッカ(321羽)、ノゴマ *Erithacus calliope* (281羽)、オオヨシキリ(159羽)であった。このうちオオジュリンとアオジ、ノゴマは秋の渡りの時期にほとんどが捕獲されたが、春にもオオジュリンはヨシ原で、アオジとノゴマは松林で少数が捕獲された。セッカは当地で繁殖しており周年捕獲できたが、1998年は特に捕獲数が多かった。オオヨシキリは当地では数つがい繁殖するのみであるが、9月の渡りの時期には多く捕獲できた。

シギ・チドリ類で捕獲数が多かったのはキアシシギ *Heteroscelus brevipes* (544羽)、トウネン *Calidris ruficollis* (447羽)、ハマシギ(346羽)、ソリハシシギ *Xenus cinereus* (313羽)、キョウジョシギ *Arenaria interpres* (259羽)であった。ハマシギとキョウジョシギは春に捕獲数が多く、トウネンとソリハシシギは秋の渡りの時期の捕獲数が多かった。キアシシギは春と秋の両方の渡りとも多くが捕獲できた。

小櫃川での記録が稀な種としては、シロハラミズナギドリ *Pterodroma hypoleuca*、オジロトウネン *Calidris temminckii*、ヨタカ *Caprimulgus indicus*、マキノセンニュウ *Locustella lanceolata*、オオセッカ *Locustella pryeri*、コホオアカ *Emberiza pusilla* が挙げられる。このうちシロハラミズナギドリは干潟での調査中に昼間に捕獲された。シロハラミズナギドリは東京湾内での記録は極めて少なく、小櫃川での標識初記録種である。オジロトウネンも干潟で捕獲された。オジロトウネンは淡水性のシギ類であり、小櫃川では観察を含めても初記録である。この両種の記録は小櫃川から初記録である(箕輪ら 2000)。ヨタカは松林にて鳴き声の再生で誘引することにより捕獲できた。マキノセンニュウ、オオセッカ、コホオアカは塩性湿地内での調査中に捕獲された。マキノセンニュウは小櫃川では1994年に標識放鳥された例に続いて2例目の記録である。オオセッカは1998年に4羽、2000年にも1羽が捕獲された。コホオアカは1997年1月10日の観察記録が1例あるのみであったが(箕輪ら 1999)、2000年と2002年に各1羽が標識放鳥された。

2. 回収記録

1998年から2003年に9種67例(小櫃放鳥・他所回収31例、他所放鳥・小櫃川回収36例)の回収記録が得られた(表3)。以下に特記すべき記録を記す。

1) シロチドリ

1994年7月6日に埼玉県熊谷市荒川で雌・成鳥として放鳥された個体が9年1か月後の2003年8月29日に再捕獲された。これは本種の10年以上の長寿記録である。

2) ハマシギ

2002年9月5日に小櫃川で放鳥された個体が、ほぼ1か月後の10月9日に船橋市の海岸で再捕獲されたもので、小櫃川と三番瀬の両干潟の間で秋期に行き来があることを示唆する例と言える。

3) コアジサシ

同一シーズン内での回収記録のうち、1例を除いてすべての回収例では、いずれも別の場所の繁殖

表2. 1998-2003年 新放鳥一覧.

Table 2. Newly banded bird species in 1998-2003.

No.	種名	species	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	総計
1	カイツブリ	<i>Podiceps ruficollis</i>			1				1
2	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>	20					1	21
3	シロハラミズナギドリ	<i>Pterodroma hypoleuca</i>			1				1
4	カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>		5	4	1	1	1	12
5	ゴイサギ	<i>Nycticorax caledonicus</i>		1					1
6	ヨシゴイ	<i>Ixobrychus sinensis</i>			1		1		2
7	チュウサギ	<i>Egretta garzetta</i>			1				1
8	コガモ	<i>Anas crecca</i>	1	1	2	1	1	1	7
9	ハシビロガモ	<i>Anas clypeata</i>					1		1
10	ヒドリガモ	<i>Anas penelope</i>		1	3				4
11	ヨシガモ	<i>Anas falcata</i>		1					1
12	キンクロハジロ	<i>Aythya fuligula</i>	4	2	3	2			11
13	スズガモ	<i>Aythya marila</i>	2	4					6
14	クイナ	<i>Rallus aquaticus</i>		1		1			2
15	バン	<i>Gallinula chloropus</i>					1		1
16	コチドリ	<i>Charadrius hiaticula</i>	3			1			4
17	シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>	7	2	8	11	9	14	51
18	メダイチドリ	<i>Charadrius mongolus</i>	30	4	16	41	14	11	116
19	オオメダイチドリ	<i>Charadrius leschenaultii</i>	3			1			4
20	ムナグロ	<i>Pluvialis dominica</i>	3	1					4
21	ダイゼン	<i>Pluvialis squatarola</i>	2		2	1		1	6
22	キョウジョシギ	<i>Arenaria interpres</i>	49	40	64	55	41	10	259
23	コオバシギ	<i>Calidris canutus</i>					1	2	3
24	オバシギ	<i>Calidris tenuirostris</i>		1	4			7	12
25	トウネン	<i>Calidris ruficollis</i>	48	17	63	187	57	75	447
26	オジロトウネン	<i>Calidris temminckii</i>		1					1
27	ヒバリシギ	<i>Calidris subminuta</i>	2			3	3		8
28	サルハマシギ	<i>Calidris ferruginea</i>			1	1			2
29	ハマシギ	<i>Calidris alpina</i>	76	72	92	65	27	14	346
30	ミユビシギ	<i>Calidris alba</i>	9	9	4	32	14	1	69
31	キリアイ	<i>Limicola falcinellus</i>				1		1	2
32	キアシシギ	<i>Tringa guttifer</i>	41	91	105	124	129	54	544
33	イソシギ	<i>Tringa hypoleucos</i>	8	2	5	6	4	5	30
34	ソリハシシギ	<i>Xenus cinereus</i>	65	41	74	44	31	58	313
35	タカブシギ	<i>Tringa glarola</i>					2		2
36	オオソリハシシギ	<i>Limosa lapponica</i>		1	2	7	2	4	16
37	オグロシギ	<i>Limosa limosa</i>						1	1
38	ホウロクシギ	<i>Numenius madagascariensis</i>	1						1
39	チュウシャクシギ	<i>Numenius phaeopus</i>	8	30	21	10	10	3	82
40	エリマキシギ	<i>Philomachus pugnax</i>				1	1		2
41	アカアシシギ	<i>Tringa erythropus</i>					1		1
42	アオアシシギ	<i>Tringa nebularia</i>		1		2	1	2	6
43	タシギ	<i>Gallinago gallinago</i>				1			1
44	オオジシギ	<i>Gallinago hardwickii</i>			1	1	1	1	4
45	カモメ	<i>Larus canus</i>					1		1
46	ウミネコ	<i>Larus argentatus</i>		1	1				2

表2. 1998-2003年 新放鳥一覧(続き).

Table 2. Continued.

No.	種名	species	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	総計
47	アジサシ	<i>Sterna hirundo</i>	36						36
48	コアジサシ	<i>Sterna albifrons</i>	50	11	1	36	22	20	140
49	キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>	2		1			1	4
50	アオバズク	<i>Ninox scutulata</i>	4						4
51	ヨタカ	<i>Caprimulgus indicus</i>	1						1
52	アリスイ	<i>Jynx torquilla</i>	2	1					3
53	ヒバリ	<i>Alauda arvensis</i>		1		1			2
54	ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>	20	35	5	1	2	2	65
55	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>	4	2	2	1			9
56	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>		1					1
57	モズ	<i>Lanius bucephalus</i>	2	3		1			6
58	ノゴマ	<i>Erithacus calliope</i>	37	27	133	41	27	16	281
59	ジョウビタキ	<i>Phoenicurus auroreus</i>	2	3	1	1			7
60	ノビタキ	<i>Saxicola tarquata</i>	1	3	1	3	1		9
61	アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i>	3						3
62	ツグミ	<i>Turdus naumanni</i>	3	1					4
63	ヤブサメ	<i>Cettia squameiceps</i>	1				1		2
64	ウグイス	<i>Cettia diphone</i>	25	27	12	6	4	3	77
65	オオセッカ	<i>Megalurus pryori</i>	4		1				5
66	マキノセンニュウ	<i>Locustella lanceolata</i>					1		1
67	シマセンニュウ	<i>Locustella ochotensis</i>	1		1				2
68	コヨシキリ	<i>Acrocephalus bistrigiceps</i>	10	1	5	5		1	22
69	オオヨシキリ	<i>Acrocephalus arundinaceu</i>	66	52	18	15	2	6	159
70	エゾムシクイ	<i>Phylloscopus tenellipes</i>	1		2	1			4
71	メボソムシクイ	<i>Phylloscopus borealis</i>	1	2	4	1	1		9
72	センダイムシクイ	<i>Phylloscopus occipitalis</i>	3		2				5
73	セッカ	<i>Cisticola juncidis</i>	142	98	35	22	15	9	321
74	キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i>	11	7	5	7	7		37
75	オオルリ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i>	1		1				2
76	ツリスガラ	<i>Remiz pendulinus</i>	3	5	5				13
77	メジロ	<i>Zosterops japonica</i>	4	11	5	1	1		22
78	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>	3	2	1				6
79	コジュリン	<i>Emberiza yessoensis</i>	2	1		1			4
80	コホオアカ	<i>Emberiza pusilla</i>			1		1		2
81	ホオアカ	<i>Emberiza fucata</i>	5	2	1	3	1		12
82	カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>	3	1					4
83	アオジ	<i>Emberiza spodocephala</i>	205	232	96	24	23		580
84	クロジ	<i>Emberiza variabilis</i>	4	4	4				12
85	オオジュリン	<i>Emberiza schoeniclus</i>	502	138	227	105	71		1043
86	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>		1					1
87	カワラヒワ	<i>Carduelis sinica</i>	31	4	8	17	1		61
88	ベニマシコ	<i>Uragus sibiricus</i>		2					2
89	スズメ	<i>Passer montanus</i>	57	33	29	5	3	2	129
90	ムクドリ	<i>Sturnus cineraceus</i>	12	2					14
91	ベニスズメ	<i>Amandava amandava</i>	1	3	2				6
種数			59	56	53	47	42	30	91
総計			1647	1046	1088	898	538	327	5544

表3. 1998-2003年 回収記録一覧.

Table 3. Recoveries in 1998-2003.

放鳥記録				回収記録			
足環番号 Band No.	放鳥日 release date	性 齢 sex age	放鳥場所 location	回収日 recovery date	性 齢 sex age	回収場所 location	経過日数 days passed
シロチドリ <i>Charadrius alexandrinus</i>							
03B-50522	940706	F A	Saitama 熊谷市荒川	030829	F A	Chiba 木更津市小櫃川	3341
トウネン <i>Calidris ruficollis</i>							
02K-25978	990517	U A	Chiba 習志野市谷津	000830	U A	Chiba 木更津市小櫃川	471
02K-25998	010514	U A	Chiba 習志野市谷津	020515	U A	Chiba 木更津市小櫃川	366
ハマシギ <i>Calidris alpina</i>							
03B-71364	020905	F A	Chiba 木更津市小櫃川	021009	U J	Chiba 船橋市潮見町	34
ミユビシギ <i>Calidris alba</i>							
03B-97349	010915	U A	Chiba 木更津市小櫃川	020420	M 1S	Chiba 船橋市潮見町	217
キアシシギ <i>Tringa guttifer</i>							
05A-16789	950807	U A	Hokkaido 根室酪陽白鳥台	000812	U A	Chiba 木更津市小櫃川	1832
05A-28880	990818	U A	Hokkaido 根室市春国岱	010521	U A	Chiba 木更津市小櫃川	642
05A-28640	990810	U A	Hokkaido 根室市春国岱	010505	U A	Chiba 木更津市小櫃川	634
ソリハシシギ <i>Xenus cinereus</i>							
04A-13750	990806	U A	Hokkaido 根室市春国岱	990824	U A	Chiba 木更津市小櫃川	18
04A-16708	990825	U J	Chiba 木更津市小櫃川	020817	U A	Aichi 豊橋市杉山町	1088
コアジサシ <i>Sterna albifrons</i>							
同一シーズン回収記録							
03B-43071	980821	U A	Chiba 木更津市小櫃川	980823	U U	Kanagawa 横浜市金沢区	2
03E-00764	010703	U P	Chiba 習志野市芝園	010818	U J	Chiba 木更津市小櫃川	46
03E-01180	010720	U P	Chiba 習志野市芝園	010818	U J	Chiba 木更津市小櫃川	29
03E-04575	020706	U P	Tokyo 大田区昭和島	020905	U 1W	Chiba 木更津市小櫃川	61
03E-04688	030705	U P	Chiba 千葉市美浜区	030811	U J	Chiba 木更津市小櫃川	37
03A-53140	030705	U P	Tokyo 大田区昭和島	030812	U J	Chiba 木更津市小櫃川	38
03E-05064	030603	U P	Ibaraki 波崎新港	030825	U 1W	Chiba 木更津市小櫃川	83
03A-53387	030713	U P	Tokyo 大田区昭和島	030828	U J	Chiba 木更津市小櫃川	46
03A-53275	030705	U P	Tokyo 大田区昭和島	030828	U J	Chiba 木更津市小櫃川	54
経年回収記録							
03B-66494	970705	U P	Hyogo 芦屋市芦屋浜	980821	U A	Chiba 木更津市小櫃川	412
03B-62556	960614	U P	Shizuoka 富士市田子の浦	980821	U A	Chiba 木更津市小櫃川	798
03B-62548	960614	U P	Shizuoka 富士市田子の浦	980821	U A	Chiba 木更津市小櫃川	798
03B-37123	940616	U P	Shizuoka 豊田町天竜川	980821	U A	Chiba 木更津市小櫃川	1527
03B-86854	990622	U P	Ibaraki 鹿島市泉川	010818	U A	Chiba 木更津市小櫃川	788
03B-43778	940621	U P	Chiba 千葉市中央区	020823	U A	Chiba 木更津市小櫃川	2985
03E-05254	030829	U A	Chiba 木更津市小櫃川	040618	U A	Shizuoka 静岡市安倍川	294
03B-43101	980822	U A	Chiba 木更津市小櫃川	040720	U A	Shizuoka 浜松市天竜川	2159
オオジュリン <i>Emberiza schoeniclus</i>							
同一シーズン回収記録							
02M-02950	981104	F A	Chiba 木更津市小櫃川	981123	F A	Chiba 我孫子市北新田	19
02M-02726	981025	F A	Chiba 木更津市小櫃川	981116	F J	Aichi 西尾市矢作川	22
02K-19184	981025	M 1W	Miyagi 仙台市蒲生七北田川	981116	M A	Chiba 木更津市小櫃川	22
02L-35853	981024	M 1W	Miyagi 田尻町蕪栗沼	981110	M 1W	Chiba 木更津市小櫃川	17
02M-03514	991025	F 1W	Chiba 木更津市小櫃川	991108	F 1W	Tochigi 渡良瀬遊水池	34
02P-29546	001020	F 1W	Miyagi 田尻町蕪栗沼	001030	F 1W	Chiba 木更津市小櫃川	10

表3. 1998-2003年 回収記録一覧 (続き).

Table 3. Continued.

放鳥記録				回収記録			
足環番号	放鳥日	性 齢	放鳥場所	回収日	性 齢	回収場所	経過日数
Band No.	release date	sex age	location	recovery date	sex age	location	days passed
オオジュリン <i>Emberiza schoeniclus</i>							
同一シーズン回収記録							
02P-30154	001024	F 1W	Miyagi 田尻町蕪栗沼	001109	F 1W	Chiba 木更津市小櫃川	16
02N-43728	001030	F 1W	Chiba 木更津市小櫃川	001119	F 1W	Aichi 渥美郡田原町	20
02N-43710	001027	M 1W	Chiba 木更津市小櫃川	001123	M 1W	Aichi 渥美郡田原町	27
02N-44324	011113	F 1W	Chiba 木更津市小櫃川	011202	F 1W	Chiba 船橋市潮見町	19
02P-98250	011016	M 1W	Miyagi 田尻町蕪栗沼	011113	M 1W	Chiba 木更津市小櫃川	28
02R-69302	011022	M 1W	Miyagi 田尻町蕪栗沼	011113	M 1W	Chiba 木更津市小櫃川	22
オオジュリン <i>Emberiza schoeniclus</i>							
経年回収記録							
02M-03333	981116	M 1W	Chiba 木更津市小櫃川	000122	M A	Ibaraki 水海道市菅生沼	432
02M-03212	981116	F A	Chiba 木更津市小櫃川	000211	F A	Ibaraki 水海道市菅生沼	452
02M-02741	981025	F 1W	Chiba 木更津市小櫃川	000216	F A	Kagoshima 出水市荘	479
02L-61551	971124	F A	Kagoshima 国分市国分干拓	981025	F A	Chiba 木更津市小櫃川	335
02J-05874	971029	M 1W	Miyagi 田尻町蕪栗沼	981025	M A	Chiba 木更津市小櫃川	361
02K-53564	970209	M A	Ibaraki 美浦村清明川	981104	M A	Chiba 木更津市小櫃川	633
02N-43385	991105	M 1W	Chiba 木更津市小櫃川	001022	M A	Miyagi 田尻町蕪栗沼	352
02M-03103	981110	F 1W	Chiba 木更津市小櫃川	991109	F A	Shizuoka 沼津市浮島沼	364
02M-55822	981114	M 1W	Tottori 米子市米子水鳥公園	991117	M A	Chiba 木更津市小櫃川	368
02K-12093	991105	F 1W	Chiba 市川市行徳	001104	F A	Chiba 木更津市小櫃川	365
02M-03018	981110	F 1W	Chiba 木更津市小櫃川	011027	F A	Miyagi 田尻町蕪栗沼	1082
02M-03215	981116	M 1W	Chiba 木更津市小櫃川	011024	M A	Miyagi 田尻町蕪栗沼	1073
02M-03286	981116	F 1W	Chiba 木更津市小櫃川	011020	F A	Miyagi 田尻町蕪栗沼	1069
02M-03314	981116	M 1W	Chiba 木更津市小櫃川	010211	M A	Chiba 印旛郡栄町	818
02M-03767	991029	M 1W	Chiba 木更津市小櫃川	011008	M A	Miyagi 田尻町蕪栗沼	710
02N-43916	001109	F 1W	Chiba 木更津市小櫃川	011028	F A	Miyagi 仙台市蒲生海岸	353
02N-43936	001109	F 1W	Chiba 木更津市小櫃川	011104	F A	Ibaraki 水海道市菅生沼	360
02P-62647	001028	M 1W	Miyagi 岩沼市寺島阿武隈川	011101	F A	Chiba 木更津市小櫃川	369
02P-96168	001027	M 1W	Miyagi 田尻町蕪栗沼	011102	M A	Chiba 木更津市小櫃川	371
02M-02847	981101	M 1W	Chiba 木更津市小櫃川	021123	M A	Chiba 市川市行徳	1483
02N-43900	001109	F 1W	Chiba 木更津市小櫃川	021030	F A	Fukushima いわき市四倉町	720
02M-20493	991020	M A	Miyagi 田尻町蕪栗沼	021103	M A	Chiba 木更津市小櫃川	1110
02N-44457	021103	F A	Chiba 木更津市小櫃川	041101	F A	Miyagi 田尻町蕪栗沼	729
02N-43345	991105	M 1W	Chiba 木更津市小櫃川	041030	M A	Miyagi 田尻町蕪栗沼	1821
02N-44274	011102	F A	Chiba 木更津市小櫃川	041102	F A	Miyagi 田尻町蕪栗沼	1096
アオジ <i>Emberiza spodocephala</i>							
同一シーズン回収記録							
02M-31434	981014	M J	Hokkaido 苫小牧市クナイ湖	981104	M A	Chiba 木更津市小櫃川	21
経年回収記録							
02N-43372	991105	F A	Chiba 木更津市小櫃川	010118	U U	Chiba 木更津市桜井新町	440
02M-03701	991029	M 1W	Chiba 木更津市小櫃川	011019	M A	Miyagi 鳴瀬町浜市	721

コロニー内で雛に足環を付けられた個体が、1~3 か月後に小櫃川で回収されたものである。当地はコアジサシが南方への渡りを行う前の渡去群が集結する場所として報告されている（茂田 1992）。

同一シーズン内での回収例はすべて繁殖地において雛で放鳥されたもので、その年生まれの幼鳥にとって小櫃川河口域が重要な渡去前の集結地であることを示す例である。

4) オオジュリン

同一シーズン内での回収記録のうち他所での放鳥で小櫃川での回収例は 6 例あり、すべて宮城県での放鳥であった。小櫃川での放鳥で他所での回収は 6 例で、そのうち 3 例は愛知県で小櫃川より西方であったが、栃木県渡良瀬遊水地と千葉県我孫子市、千葉県船橋市の各 1 例は、小櫃川より北側に位置し、本来の渡りの方向とは逆の方向に移動した例として興味深い。

謝 辞

表の作成には山階鳥類研究所標識研究室の吉安京子氏の協力を得た。また、小櫃川河口での標識調査は、多くの方々の協力を得て行うことが出来た。ここに改めて御礼申し上げます。

要 約

小櫃川河口干潟周辺において 1998 年から 2003 年までの 6 年間、それまで主に行っていた春・秋のシギ・チドリ類を対象とした標識調査に加え、周年を通して小鳥類を対象とした調査も併せて行った。6 年間の調査日数は、のべ 213 日で、調査環境はシギ・チドリ類を対象とした干潟と、小鳥類を対象としたヨシ原と松林に大別される。調査環境と対象鳥種に応じて網の種類と張り方を変えて、また時期や調査の主な対象に応じて、再生装置を用いた鳴き声による誘引を行った。

新放鳥数は 91 種 5,544 羽であった（表 2）。オオジュリンとアオジ、ノゴマは秋の渡りの時期に多くが捕獲されたが、春にもオオジュリンはヨシ原で、アオジとノゴマは松林で少数が捕獲された。セッカは当地で繁殖しており周年捕獲できたが、1998 年は特に捕獲数が多かった。オオヨシキリは当地では数番が繁殖するのみであるが、9 月の渡りの時期には多く捕獲できた。シギ・チドリ類ではハマシギとキョウジョシギは春に捕獲数が多く、トウネンとソリハシギは秋の捕獲数が多かった。キアシシギは両方の季節で多く捕獲できた。稀な種としては、シロハラミズナギドリ *Pterodroma hypoleuca*、オジロトウネン *Calidris temminckii*、ヨタカ *Caprimulgus indicus*、マキノセンニュウ *Locustella lanceolata*、オオセッカ *Locustella pryori*、コホオアカ *Emberiza pusilla* が挙げられる。

1998 年から 2003 年に 9 種 67 例（小櫃放鳥で他所回収 31 例、他所放鳥で小櫃川回収 36 例）の回収記録が得られた（表 3）。特記すべきものとして、2002 年 9 月 5 日に小櫃川で放鳥されたハマシギがほぼ 1 か月後の 10 月 9 日に船橋市の海岸で再捕獲された例、繁殖コロニーで雛で足環を付けられたコアジサシが 1~3 か月後に小櫃川で回収された例があり、前者はハマシギが秋の渡来当初には北上して移動することがあること、後者はコアジサシの幼鳥にとって小櫃川河口域が重要な渡去前の集結地であることを示す。

SUMMARY

We have conducted bird-banding research with 20 to 50 days annuaty at Obitsu Estuary, Kisarazu City, Chiba (35°24'N , 140°55'E) from 1998 to 2003 (Table 1). We could get the notable records, such as first records of the Bonin Petrel *Pterodroma hypoleuca* and the Temminck's Stint *Calidris temminckii* for Obitsu Estuary (Table 2) as well as 67 recovery records of nine species, including more than ten years longevity record of the Kentish Plover *Charadrius alexandrinus* (Table 3).

引用文献

- 木村裕一・茂田良光 1999. シギ・チドリ類レッグフラッグの作成と装着状況. 日本鳥類標識協会誌 14:20-26.
- 箕輪義隆・桑原和之・田村満 1999. 小櫃川河口鳥類目録 (1974-1994 年). 千葉県生物学会(編)千葉県動物誌. pp.970-994, 文一総合出版, 東京.
- 箕輪義隆・田村満・桑原和之 2000. 木更津市小櫃川河口鳥類目録. pp.67-73. 桑原和之・箕輪義隆・石黒夏美・嶋田哲郎 (編) 東京湾の鳥類 多摩川・三番瀬・小櫃川の鳥たち たけしま出版, 流山市.
- 茂田良光 1992. コアジサシの標識調査. 平成 4 年度鳥類観測ステーション報告. pp.67-73. 山階鳥類研究所標識研究室, 我孫子市.

木村裕一 yhy13254@nifty.com

710-0038 岡山県倉敷市新田 2520-3

茂田良光 shigeta@yamashina.or.jp

270-1145 千葉県我孫子市高野山 115 山階鳥類研究所標識研究室

Yuichi Kimura yhy13254@nifty.com

2520-3 Nitta, Kurashiki-Shi, Okayama 710-0038, Japan

Yoshimitsu Shigeta shigeta@yamashina.or.jp

c/o Bird Migration Research Center, Yamashina Institute for Ornithology,

115 Konoyama, Abiko-Shi, Chiba 270-1145, Japan